

## (臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

- [研究課題名] 抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体陽性間質性肺疾患の再燃と臨床経過のフェノタイプ解析
- [当院研究責任者] 部署名 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 木村智樹
- [研究の背景] 抗アミノアシル tRNA 合成酵素抗体陽性間質性肺疾患（抗 ARS 抗体陽性ILD）は再燃を繰り返すことが課題であり、病態経過には多彩なフェノタイプがある可能性がある。
- [研究の目的] 抗ARS抗体陽性ILDにおける再燃を予測するAIモデルを構築し、適切な治療介入による再燃抑制を目指すとともに、疾患のフェノタイプを解析し、再燃が予後に与える影響を明らかにする。

### [研究の方法]

- 対象：2014年1月から2024年3月に診断した間質性肺疾患
- 研究期間：実施許可から2029年03月31日まで
- 利用する検体、カルテ情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、発症様式、抗ARS抗体陽性ILDの病型、抗ARS抗体の詳細、血液検査（KL-6、SP-D、CRP、LDH、Alb）、動脈血液ガス検査（pH、PaO<sub>2</sub>、PaCO<sub>2</sub>、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>）、肺機能検査（FVC、DLCO）、6分間歩行試験（歩行距離、最低SpO<sub>2</sub>）、治療内容、再燃の有無、肺移植の有無、観察期間、死亡の有無と死因等
- 利用する検体、カルテ情報の管理：検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織] この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い] 検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先] 公立陶生病院  
所属部署 呼吸器・アレルギー疾患内科 氏名 木村智樹  
電話 0561-82-5101 FAX 0561-82-9139